

施設名	刈谷市一ツ木福祉センター(一ツ木児童館)		
主管部課等名	次世代育成部子育て推進課(夢と学びの科学体験館)		

(1)指定管理者の概要

指定管理者	社会福祉法人刈谷市社会福祉協議会		
所在地	刈谷市下重原町3丁目120番地		
管理体制	施設長1人、児童厚生員3人		
指定期間	R2.4.1～R7.3.31	指定方法	任意
管理業務の内容	施設の維持管理業務、児童館運営業務		

(2)運営状況

行事・講座等	子ども工作教室、ミニ夏まつり、親子ふれあい遊び、卓球教室、移動児童館			
サービス向上への取り組み	アンケートなどを通して利用者のニーズを吸い上げ、子どもが安全に楽しめる企画を考え、より良いサービス提供に努めている。			
利用状況	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数(人)	4,833	7,606	7,675	15,320

満足度アンケート	概要	実施時期:毎年2月～3月 実施方法:利用者へアンケート用紙を配布・回収(配布数100枚以上) 設問:施設の利用に関して「とても楽しい」「楽しい」「ふつう」「楽しくない」			
	結果	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	回収率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0
	「とても楽しい」「楽しい」の割合(%)	96.0	95.0	98.0	94.5
	上記への対応状況	アンケートなどを通して利用者のニーズを吸い上げ、子どもが安全に楽しめる企画を考え、より良いサービス提供に努めた。			

モニタリング実施結果

主な問題点及びその対応状況	令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことから、今までの感染対策を継承しながら、安全で快適な児童館利用体制に努めた。 新型コロナ対策時から開始した名簿の記載は、児童の忘れ物対策に有効なことが判明したため、引き続き必要事項のみ記入を継続させた。また、ちびっこルームについては、コロナ渦では密を避けるために人数規制を開始したが、結果として、幼児が接触してケガ等をしないように配慮した形にできたため、上限人数を再設定し運営を行った。
利用者からの反応及びその対応状況	アンケートにおいて「ちびっこルームのおもちゃを増やしてほしい」との意見があったため、予算の範囲内でおもちゃの充実を行った。

その他特記事項	
---------	--

(3) 収支の状況

収支の状況(単位:円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入	指定管理料	8,832,000	8,540,000	8,439,000	9,336,000
	利用料金	0	0	0	0
	その他	971,433	2,137,739	2,339,643	1,525,650
	収入(計)	9,803,433	10,677,739	10,778,643	10,861,650
支出	事業費	1,037,074	1,330,739	1,959,356	1,731,714
	管理運営費	2,032,181	2,020,473	2,068,017	2,107,116
	人件費	3,625,006	2,960,163	2,996,995	3,196,869
	その他	971,433	2,137,739	2,228,625	1,525,650
	支出(計)	7,665,694	8,449,114	9,252,993	8,561,349

(4) 総合評価

評価項目	判定
法令等の遵守	B
適正なサービスの提供(苦情対応・アンケートなど)	B
運営状況(協定書、事業計画書等に沿って運営されているか)	B
施設の利用状況(稼働状況、事業計画の達成度など)	B
管理経費等の収支状況(経理状況や経費節減の取組み)	B
自主事業の実施状況	B
施設の維持管理状況	B
保守管理の実施状況	B
総合評価	判定
評価の理由	B

(4) 総合評価の欄について

判定は、各項目につき、下記の4段階評価し、評価不能な項目は「－」とする。

- A: 協定書、仕様書に定める内容を上回る成果があった。
- B: 概ね協定書、仕様書に定める内容どおりの成果があった。
- C: 協定書、仕様書に定める業務内容に達しない面があり、改善の努力が必要。
- D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要する。
- －: 実施していない。